特 集

Kutchan Nihongo Salon
にほんごサロン にこちゃん
Nico-chan

今月号の特集では、やさしい日本語を使って日本人と外国人が交流する「にほんごサロンにこちゃん」の様子や活動内容を紹介します。

地域おこし協力隊で「にこちゃん」のコーディネーターを務める**佐藤 礼乃（あやの）**です。

私から「にこちゃん」を紹介します！

「にこちゃん」って？

日本語を学習する外国籍住民（学習者）と、日本語を話せる住民（サポーター）が集まって、「やさしい日本語」で会話や交流を楽しむところです。

対等な関係

学習者 ⟷ サポーター

参加者は、会話や交流を通じて、互いの文化や生活の違いへの理解を深めることができ、さらに学習者はその中で、日本語の会話や表現を学ぶことができます。

「にこちゃん」が大切にすること

日本語を教えるという活動ではなく、町に住む人が、自分たちで町をよりよくするための活動ができる、多文化共生の拠点となるような場所で在り続けることです。

「にこちゃん」に込められた思い

倶知安に集まった人たちが、日本語で交流をすることで、関わる人が笑顔になりますようにという思いが込められています。

にほんご × こうりゅう × くっちゃん

＝ にこちゃん（笑顔）

「やさしい日本語」って？

「やさしい」には、「思いやり」や「簡単」などの意味があり、日本語を勉強中の人や子どもなど、相手にとってわかりやすく配慮した日本語のことを言います。

「やさしい日本語」にするコツ

- 短くシンプルにする
- 最後まではっきり話す
- 難しい言葉を簡単にする

にこちゃん の活動を紹介！

「にこちゃん」は、1年を通して活動しており、1つの季節に10～14回ほど、年間では40回以上開催しています。

学習者もサポーターも好きなタイミングで参加できることが特徴で、仕事などの自分の都合に合わせて、いつでも参加することができます。

春		夏		秋		冬
約2カ月	休み	約2カ月	休み	約2カ月	休み	約2カ月

自分の好きな時期に1回の参加でもOK！

サポーター大募集

サポーターになるには、初めにサポーターミーティングへの参加が必要です。ミーティングでは、「やさしい日本語」への理解を深め、活動内容をみんなで考えます。

ばしょ
町文化福祉センター

じかん
水曜日　14時～15時30分
木曜日　18時～19時30分

最新の開催情報は、町HPにて随時更新！

参加申込はコチラより
☎56－8001（佐藤）

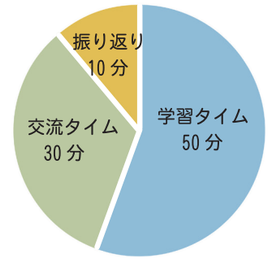
次回サポーターミーティング
12月13日（水）14時～16時
14日（木）18時～20時

活動内容

1．学習タイム

学習者1名とサポーター2名ほどでグループになり、自分たちの好きなことや興味のあること、一緒のグループの人に聞いてみたいことなど、自由に会話を楽しみます。

会話がスムーズに進むように、サポーターミーティングで考えたテーマや質問内容も活用します。



2．交流タイム

その日の参加者全員で、日本語を使った簡単なゲームなどをして交流します。時にはサポーターが先生となって、日本特有の遊びや文化体験を一緒に楽しみます。

今まで行ったゲーム・文化体験
・伝言ゲーム　・ジェスチャーゲーム
・奥さんお絵かきですよ　・折り紙　・かるた
・すごろく　・けん玉　・書道　・豆まき　など

3．振り返りシートの記入

学習タイムでは誰とどんな話をしたか、交流タイムでは何をしたのか、楽しかったことや気付いたこと・学びなど、活動を記録して共有することで、次回以降の活動に役立てます。

にこちゃん のイベント

「にこちゃん」では、参加者同士の交流を深めるため、イベントも開催しています。

【ポットラックパーティー】
出身国の料理を持ち寄ったり、日本語の単語を使ったビンゴを楽しんだりしました。

【風土館・美術館見学】
文化の日に風土館と美術館を見学して、倶知安や日本の歴史・芸術を学びました。

【ミニ運動会】
総合体育館で、フラフープリレーやペットボトル起こしなど、目いっぱい体を動かしました。

にこちゃん コラボ企画

最近では、地元で活動する他団体とのコラボレーション企画も実施しています。

【多文化料理サロン】
台湾料理を教わりながら、みんなで作って食べました。
＊コラボ先：倶知安まちづくり協働会議

【英語を使った交流会】
英語を勉強する住民の練習のため、英語で交流をしました。
＊コラボ先：町民英語研修

【やさしい日本語で119番】
通報で使う日本語の表現を練習し、実際に通報して練習しました。
＊コラボ先：羊蹄山ろく消防組合

にこちゃん に参加している方に聞いてみました！

サポーター
中郁（なかむら） 大輔（だいすけ） さん

困っている外国人と関わる機会があり、“英語はわからないけれど、助けになりたい”と考えていたとき「にこちゃん」の存在を知りました。

初めは“日本語を教えなければ…”と考えていて、プレッシャーを感じましたが、参加することで、学習者とサポーターがお互いに交流を楽しむ場所と知り、気持ちが楽になったのを覚えています。

さまざまな人といろいろな話ができるので、初めて知ることがたくさんあって、いつも楽しんで参加しています。

ここに来るまでは、自分たちで日本語を勉強していたので、話す練習ができるのは、いい機会だと思いました。以前は、頭で一度考えてから話をしていましたが、今では、自然と言葉が出てくるようになりました。

日本語が話せるようになってくると、レストランへ行ったり、スケッチ教室に通ってみたりするにも、不安や心配がなくなって、今年の夏はいろいろな経験をすることができました。

冬は仕事が忙しくなるので、あまり行けなくて寂しいですが、また参加するのが楽しみです。サポーターさん、いつもありがとうございます！

学習者【台湾出身】
イリュウさん（真ん中）
トゥッティさん（右）
シーちゃん（左）